

2020年度 シラバス (授業細目表)

科目名	花と緑の商品知識		履修区分	必修	選択
受講対象	花き生産コース・グリーンコーディネーターコース フラワーコーディネーターコース・造園コース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	30	単位数	1
授業概要	花木、洋ラン、観葉植物等の栽培管理や販売に関する知識の学習。	到達目標	小売りの現場で求められる、お客様からの基礎的な質問等に答えられる知識の習得。		
担当教員	大久保 茂徳				
実務経験と授業との関わり	園芸会社での勤務経験、大型ガーデンセンターでの講習会講師の経験があり、植物に関する商品知識が豊富である。よって、小売りの現場で顧客へ説明することを想定し、実践的に指導することができる。				
テキスト・教材	鉢花ハンディ事典 春～夏編 (NHK出版)、鉢花ハンディ事典 秋～早春編 (NHK出版)				
成績評価方法	毎回の授業で扱う植物それぞれについて、フォーマットにまとめたものによって評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	花木類	春の花木	
2	花木類	春の花木	
3	花木類	初夏の花木	
4	花木類	家庭果樹	
5	温室植物	洋ラン類	
6	温室植物	洋ラン類	
7	温室植物	観葉植物	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 欠席時のフォーマットが未提出の場合には減点となる。また、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	園芸実習		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	30		単位数 1
授業概要	植物栽培についての興味と関心を高めるとともに、適切な管理方法を学習する。	到達目標	圃場での時期に応じた管理方法を習得する。		
担当教員	萩原 文雄				
実務経験と授業との関わり	鉢花、花壇苗、洋ラン、切り花などの花き生産に20年以上従事し、幅広い植物の生産知識を持つ。よってコース問わず最低限知っておくべき基本的な栽培知識、技術を指導することができる。				
テキスト・教材					
成績評価方法	出席状況、授業態度を総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	圃場管理	各コースでの植物管理作業	
2	圃場管理	圃場での管理作業（花がら摘みや追肥等）	
3	圃場管理	各コースごとでの植物管理作業	
4	圃場管理	圃場での管理作業（除草、花がら摘みや追肥等）	
5	圃場管理	圃場での管理作業（花がら摘みや追肥等）	
6	圃場管理	圃場での管理作業（除草等）	
7	圃場管理	圃場での管理作業（花がら摘みや追肥等）	
8	まとめ	花壇メンテナンス、圃場管理作業	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	植物管理応用		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネーターコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前・後期	時間数	60	単位数	2
授業概要	1年次に基礎として学んだ園芸分類ごとにおける管理技術を、2年次では代表種を複数用いて深く理解していく。	到達目標	園芸的分類を理解たうえて、そのカテゴリーに必要な管理技術を年間管理を通して習得する。		
担当教員	平田 直樹、伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	(平田) 長年にわたりガーデンセンタに勤務し、植物の性質はもちろん園芸のデザインや販売方法、接客など実践経験が豊富であり、実際の現場に即した内容を指導することができる。(伊藤) 植物生産者での経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	植物に関わる一連の管理作業の習得状態を評価。また学習した植物の実物鑑定試験を実施。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	1年草の管理	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
2	球根の管理	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
3	コニファーの管理	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
4	薬用植物の管理	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
5	多肉植物の管理	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
6	サボテンの管理	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
7	オーストラリア原産種	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
8	水生植物の管理	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
9	観葉植物の管理	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
10	ラン類の管理	性質や特性、管理の実践、繁殖作業	
11	その他植物の管理	コーデックス、森林性サボテンなど	
12	秋植え植物	秋植えする植物の紹介	
13	秋植え一年草、球根、宿根草	パンジー・ビオラなどの一年草、チューリップなどの球根類の紹介	
14	ポインセチア	品種紹介と管理方法	
15	クリスマス装飾	クリスマス装飾の要点と実習	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	施設管理実習		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前・後期	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	農場全体の併設施設の管理を実施していく。植物の生育環境を考えた温室管理や修繕なども含めて指導する。	到達目標	見本植物の普段からの灌水、除草、換気管理に加え、季節ごとに重要となる管理作業について理解する。		
担当教員	萩原 文雄				
実務経験と授業との関わり	鉢花、花壇苗、洋ラン、切り花などの花き生産に20年以上従事していた。よって、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	農場要覧				
成績評価方法	朝の灌水当番に加え、夏・冬休み期間の管理当番を実施し、その出席にて評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	基本管理①	灌水・除草管理	
2	基本管理②	換気・遮光管理	
3	基本管理③	指標植物について	
4	基本管理④	微気象について	
5	基本管理⑤	導入番号と位置について	
6	基本管理⑥	最高最低気温について	
7	真夏の管理	灌水、遮光、換気について	
8	見本植物園の管理	共通する管理事項と個別管理	
9	熱帯植物園の管理	共通する管理事項と個別管理	
10	薬用植物園の管理	共通する管理事項と個別管理	
11	乾生植物園の管理	共通する管理事項と個別管理	
12	常設インドアガーデンの管理	アトリウム空間側の管理方法	
13	常設インドアガーデンの管理	アトリウム空間側の管理方法	
14	常設インドアガーデンの管理	アトリウム空間側の管理方法	
15	常設インドアガーデンの管理	アトリウム空間側の管理方法	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	グリーンコーディネートⅡ		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次後期	時間数	30	単位数	1
授業概要	祭事に関わる臨時インドアガーデン製作の一連の作業として、2年次では卒業進級作品展における大型インドアガーデンの施工を行い学習していく。	到達目標	大型のインドアガーデンの施工を通して、デザインから見積書、会計報告に至るまでの一連の流れを理解している。		
担当教員	折笠 一仁、伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	(折笠) 長年にわたり装飾会社に勤務したのち折笠園芸として独立をした。両名とも園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	図面用紙一式（コンセプト、平面図など）を授業で学びながら完成させて評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ図面用紙の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	展示場所の下見	屋内の植物に必要な環境条件	
2	図面作成①	テーマ、コンセプト決定	
3	図面作成②	透視図、平面図	
4	図面作成③	作業工程表、見積書	
5	仕入	植物資材の仕入	
6	準備作業①	床面保護、縁取り材の準備	
7	準備作業②	パッキング材、地被材の準備	
8	準備作業③	主木、花もの、地被植物の準備	
9	準備作業④	添景物、構造物の準備	
10	準備作業⑤	館内搬入準備	
11	施工	館内にすみやかに施工する	
12	メンテナンス	植物の給水、展示周辺の安全確認	
13	撤去	すみやかに撤去する。植物資材の整理作業	
14	評価講評	展示した作品の評価講評をおこなう	
15	会計報告	現金出納帳作成、領収書等の提出	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	グリーンコーディネートⅢ		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前・後期		時間数	60	単位数 2
授業概要	ショッピングモール等への展示を想定した、館内併設のボーダーガーデンの設計・施工を通して、一連の作業と段取り手順を学習していく。	到達目標	屋内緑化としての常設ボーダーガーデンの通常管理をはじめ、依頼主からの施工に対応する基礎手順が身についている。		
担当教員	折笠 一仁、伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	（折笠）長年にわたり装飾会社に勤務したのち折笠園芸として独立をした。両名とも園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	常設ガーデンの施工計画について理解できているかを問う。また施工計画の手順通りかを評価とする。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ図面用紙の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	展示場所の下見	屋内の植物に必要な環境条件	
2	図面作成①	テーマ、コンセプト決定	
3	図面作成②	透視図、平面図	
4	図面作成③	作業工程表、見積書	
5	仕入①	展示資材の仕入	
6	仕入②	植物、地被材類の仕入	
7	準備作業②	整地、位置出し	
8	準備作業③	主木、花もの、地被植物の準備	
9	準備作業④	添景物、構造物の準備	
10	準備作業⑤	館内搬入準備	
11	施工①	主木、構造物等の配置	
12	施工②	花もの類の配置	
13	メンテナンス	この先1年間のメンテナンス計画について	
14	評価講評	展示した作品の評価講評をおこなう	
15	会計報告	現金出納帳作成、領収書等の提出	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	グリーンコーディネート実践		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前・後期	時間数	90	単位数	3
授業概要	フラワーショーへの出展、文花祭大型装飾や商業空間への展示を指導し実践することで、実際の仕事の手順と計画を一連の動作を繰り返すことでより理解していく。	到達目標	フラワーショーでは入賞を目標とする。商業空間等では実際の仕事と同じ作業を繰り返し実践することでの高い習得度を目指す。		
担当教員	折笠 一仁、伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	(折笠) 長年にわたり装飾会社に勤務したのち折笠園芸として独立をした。両名とも園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	イベント実施計画書（平面図、作業工程、見積書、現金出納帳）				
成績評価方法	図面を基に作品製作、搬入・搬出が主な作業であり、その手順や作業段取、周りへの配慮について作業取り組み状況を評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつレポートを提出し単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	フラワーショー出展①	現場の下見、出展計画	
2	フラワーショー出展②	植物資材の仕入	
3	フラワーショー出展③	作品準備	
4	フラワーショー出展④	ガーデニングコンテスト会場への設置	
5	フラワーショー出展⑤	撤去、植物資材の整理整頓	
6	文花祭大型装飾②	図面類作成	
7	文花祭大型装飾③	プレゼンテーション	
8	文花祭大型装飾④	植物資材の仕入	
9	文花祭大型装飾⑤	ガーデン準備作業	
10	文花祭大型装飾⑥	施工、搬入、完成、継続メンテナンス	
11	商業空間出展①	現場の下見、出展計画	
12	商業空間出展②	図面類作成	
13	商業空間出展③	プレゼンテーション	
14	商業空間出展④	修正図案の確認	
15	商業空間出展⑤	植物資材の仕入	
16	商業空間出展⑥	ガーデン準備作業	
17	商業空間出展⑦	ガーデン準備作業	
18	商業空間出展⑧	施工、搬入、完成、継続メンテナンス	
19	商業空間出展⑨	撤去作業、植物資材類の整理整頓	
20	卒業作品展大型装飾①	図面類作成	
21	卒業作品展大型装飾②	ガーデン準備作業	
22	卒業作品展大型装飾③	施工、搬入、完成、継続メンテナンス	
23	卒業作品展大型装飾④	撤去作業、植物資材類の整理整頓	
24	総合評価	一連の作業の評価と講評	
25			
26			
27			
28			
29			
30			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	環境調査		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	2年次前期	時間数	15	単位数	0.5
授業概要	グリーンコーディネーターとして最初の仕事ともいえる室内へ飾るための「環境調査」の概要と、実態調査を踏まえて進めていく。	到達目標	室内のあらゆる環境へ植物を飾るための事前調査ができるようになる。		
担当教員	佐野 好男、伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	(佐野) 長年にわたりグリーンコーディネート（園芸装飾）業に従事し、多くの優秀作品を手掛けるなど、その功績から「現代の名工」を授与。後継者育成に取り組んでいる。両名とも園芸装飾技能士1級を所持。よって実際の現場に即した内容を指導することができ				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	調査の手順を理解している。実際の調査で使用できる植物の種類を理解できている。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつレポートの得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	植物が必要な環境について	植物と人間との環境比較をしながら解説	
2	室内環境について	野外との比較、人間優先を理解する	
3	環境調査の意義	室内に飾る前段階としての必要性	
4	調査項目	照度、温度、風、その他の環境要因	
5	調査方法	手順の解説	
6	環境調査①	アトリウム空間の環境調査	
7	環境調査②	暗い室内に植物を飾るための事前調査	
8	環境調査③	狭い室内空間に植物を飾るための事前調査	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	特殊空間緑化		履修区分	必修	選択	
受講対象	グリーンコーディネーターコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前・後期		時間数	30	単位数	1
授業概要	オフィスや地下街へ植物を導入する特殊空間緑化について、一連の手法を理解し、事例を紹介しながら深めていく。	到達目標	特殊空間緑化に関わる法令を理解したうえで、安全性からデザインの手法を理解していく。			
担当教員	伊藤 弘充、外来講師予定					
実務経験と授業との関わり	(伊藤) 植物生産者での経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。					
テキスト・教材	関連資料の配布					
成績評価方法	基礎知識の確認テスト、レポート課題とする。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつレポートの得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	特殊空間緑化緑化とは①	特殊空間緑化の役割について	
2	特殊空間緑化緑化とは②	事例からその意味を学ぶ	
3	屋上緑化①	定義と役割、必要性について	
4	屋上緑化②	事例からその意味を学ぶ	
5	壁面緑化①	定義と役割、必要性について	
6	壁面緑化②	事例からその意味を学ぶ	
7	屋内緑化①	定義と役割、必要性について	
8	屋内緑化②	事例からその意味を学ぶ	
9	植物の持つ効能①	環境浄化や心理ストレス緩和など	
10	植物の持つ効能②	防火防災や避難の効果について	
11	植物の持つ効能③	温暖化対策、防音効果について	
12	ライティングセミナー①	光とは何か？基礎知識	
13	ライティングセミナー②	特殊空間、農業分野における光の必要性	
14	見学	特殊空間緑化のオフィスビル見学	
15	総合評価	確認テスト、レポート課題	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	ガーデン設計			履修区分	必修	選択	
受講対象	グリーンコーディネーターコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学	
開講時期	2年次前期		時間数	30		単位数	1
授業概要	グリーンコーディネーターに必要なインドアガーデンの設計について、手順と手法を実践しながら深めていく。	到達目標	平面図、立面図について理解し、適切な縮尺図にてプレゼンテーションできるようにする。				
担当教員	伊藤 弘充						
実務経験と授業との関わり	植物生産者での経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。						
テキスト・教材	関連資料の配布						
成績評価方法	縮尺率や配置など理解できているかを、図面作成を通して評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ図面の得点が60点以上で単位認定となる。				

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	インドアガーデンの特徴	常設、臨時タイプの理解から始まる	
2	インドアガーデンを想像する	場所、季節、制限因子、テーマの把握	
3	クライアントを知る	依頼主の特徴や趣向を把握する	
4	依頼場所の確認	実際の展示場所の下見と合わせて想像する	
5	ガーデンの構成要素	インドアガーデンの構成要素について	
6	図面作成 演習①	平面図の作成。縮尺の理解	
7	図面作成 演習②	平面図の作成。縮尺の理解	
8	図面作成 演習③	平面図の作成。縮尺の理解	
9	図面作成 演習④	平面図の作成。縮尺の理解	
10	図面作成 演習⑤	立面図(透視図)の作成。配置、奥行きを理解	
11	図面作成 演習⑥	立面図(透視図)の作成。配置、奥行きを理解	
12	図面作成 演習⑦	立面図(透視図)の作成。配置、奥行きを理解	
13	図面作成 演習⑧	立面図(透視図)の作成。配置、奥行きを理解	
14	図面作成 演習⑨	立面図(透視図)の作成。配置、奥行きを理解	
15	総合評価	プレゼンボードの作成	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	空間デザイン		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネーターコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次後期	時間数	30	単位数	1
授業概要	グリーンコーディネーターに必要な室内空間や商業空間をデザインする力を基礎から学ぶ。	到達目標	住空間、商業空間に植物をコーディネートするためのデザイン力を養う。		
担当教員	鈴木 靖子				
実務経験と授業との関わり	ガーデンデザイナー、グリーンコーディネーターとして園芸界の第一線で活躍しており、フラワーショウの公演やガーデンセンターの講師をするなど、特にデザイン力に定評があり、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	住空間の特徴を理解し、そこに飾る植物作品を製作して評価とする。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ作品の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	空間デザインとは	デザインの基本について	
2	住空間における園芸①	主に屋外、室内に飾られた園芸デザインの事例紹介	
3	住空間における園芸②	もとめられる要素、流行、特色について	
4	住空間における園芸③	室内外を中心としたデザインのガーデニング実習	
5	住空間における園芸④	室内外を中心としたデザインのガーデニング実習	
6	商業空間における園芸①	ショッピングモールなどの植栽デザインについて	
7	商業空間における園芸②	フラワーショウガーデンのデザインについて	
8	商業空間における園芸③	商業空間におけるデザインのガーデン実習	
9	商業空間における園芸④	商業空間におけるデザインのガーデン実習	
10	世界の園芸デザイン	世界各地の園芸文化とデザインについて	
11	デザイン活用の見学①	都内を中心とした空間デザインの視察	
12	デザイン活用の見学②	都内を中心とした空間デザインの視察	
13	デザイン活用の見学③	ガーデンセンター内の空間デザイン視察	
14	デザイン活用の見学④	ガーデンセンター内の空間デザイン視察	
15	総合評価	住空間に植物を提案する	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	グリーンデザイン		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次後期	時間数	30	単位数	1
授業概要	グリーンインテリアとしての商品の幅を広げるために、フラワーデザイン的な要素を取り入れた商品制作を通じて習得していく。	到達目標	グリーンインテリアとして根つきの植物はもちろん、切り花やドライも含めた商品が提供できるようになる。		
担当教員	伊達 啓子、平田 直樹				
実務経験と授業との関わり	(伊達) イギリスのフラワースクールでフラワーデザインやヨーロッパの園芸文化について習得し、フラワー関連の雑誌では園芸文化についての連載を持つなど非常にこの分野の造詣が深いことから、文化的背景をもとにしたフラワーデザインの指導ができる。(平田) 長年にわたりガーデンセンタに勤務し、植物の性質はもちろん園芸のデザインや販売方法、接客など実践経験が豊富であり、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	作品製作を示したレポート課題にて評価とする。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつレポートの得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	ハロウィン装飾	ハロウィン装飾の要点と実習	
2	ハロウィン装飾	ハロウィン装飾の要点と実習	
3	多肉植物の寄せ植え	多肉植物を使ってハロウィンの寄せ植え	
4	多肉植物の寄せ植え	多肉植物を使ってハロウィンの寄せ植え	
5	基本のフラワーアレンジ	オールラウンドなイギリス風	
6	基本のフラワーアレンジ	個性的なフランス風	
7	収穫のスワッグ	ドライ素材を使ったスワッグ	
8	収穫のスワッグ	ドライ素材を使ったスワッグ	
9	ハロウィーンアレンジ	行事のフラワーアレンジ	
10	ハロウィーンアレンジ	行事のフラワーアレンジ	
11	クリスマスリース	グリーンリースの作り方	
12	クリスマスリース	グリーンリースの作り方	
13	バレンタインハート	バレンタインの商品展開（ドライと生花）	
14	バレンタインハート	バレンタインの商品展開（ドライと生花）	
15	総合評価	一連の作品製作の評価と講評	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	グリーンビジネス		履修区分	必修	選択	
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期	時間数	15	単位数	0.5	
授業概要	2年次では園芸店舗以外にも幅を広げ、植物公園や併設施設等の運営についても学習する。	到達目標	グリーン業界（園芸装飾）に関わるビジネスと販売業（園芸店等）の要約について理解する。			
担当教員	伊藤 弘充					
実務経験と授業との関わり	植物生産者での経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。					
テキスト・教材	関連資料の配布					
成績評価方法	見学先の必要な事柄をレポートにて評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつレポートの得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	グリーンビジネスとは	1年次の復習からスタート	
2	仕入、販売、流通	ビジネスを展開する方法	
3	市場見学①	埼玉園芸市場の視察	
4	市場見学②	埼玉園芸市場で引き荷セリ	
5	植物園の役割	ビジネスだけではない大切な役割	
6	イベントの必要性	園芸ビジネスの可能性について	
7	見学③	植物園を予定。	
8	見学④	植物園を予定。レポート作成。	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	グリーンインテリア		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	30	単位数	1
授業概要	基礎的なグリーンインテリアを1年生で学んだが、ここではコストを意識した商品作成やオリジナル商品の幅を広げていく。	到達目標	コスト意識も大切だが、トレンド商品を意識した考え方と対応力を養う。		
担当教員	伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	植物生産者での経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	オリジナル商品企画において、企画書、商品作成、プレゼンテーションの一連の流れを評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、商品企画の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	グリーンインテリア①	ミニ観葉を活かした商品提案	
2	グリーンインテリア②	木材を利用したベースづくり	
3	グリーンインテリア③	デザインと植栽	
4	グリーンインテリア④	コスト、売上などの計算	
5	小品盆栽①	小品盆栽とは 魅力について	
6	小品盆栽②	植物と器の仕入	
7	小品盆栽②	商品制作	
8	多肉のインテリア①	単品を最大限に見せるための工夫	
9	多肉のインテリア②	木材のキューブ加工を通して製作	
10	多肉のインテリア②	商品制作	
11	オリジナル商品企画①	文花祭にて販売する商品のアイデア	
12	オリジナル商品企画②	仕入、コスト計算、販売計画	
13	オリジナル商品企画③	商品制作	
14	オリジナル商品企画④	プレゼンテーション計画	
15	オリジナル商品企画⑤	修正案と修正商品の考案	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	販売促進		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	15	単位数	0.5
授業概要	母の日の販売や文花祭を実践の場として、売上向上のための販売促進を実習にて体感して、接客も含めて学習していく。	到達目標	実際にお客様と接することで、販売という経済活動を体感し、集客方法と購買意欲に結びつく要素について知る。		
担当教員	伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	植物生産者での経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	販売会の商品作成、POP作成、売り場のデザインをトータルにレポートを作成し評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつレポートの得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	園芸のイベントについて	年間で最大の園芸イベントと販売促進	
2	販売計画①	商品考案、ターゲット層、価格設定	
3	販売計画②	商品一覧と特性について	
4	仕入	市場等での仕入	
5	商品作成①	ガーデニング商品の製作	
6	商品作成②	グリーンインテリア商品の製作	
7	売り場づくり①	陳列、POP作成、備品、レジ、釣銭、その他	
8	売り場づくり②	集客方法、クレーム対応、販売員指導	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	植物販売管理		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネーターコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	30	単位数	1
授業概要	販売植物のうち、過去に多くの質問を受けた種類を中心に、取扱い方法から利用方法、提案までを講義、実習にて取得していく。	到達目標	ジャンルにおける植物の特性を理解し、お客様への正しい知識の普及を第一に実践できるようにする。		
担当教員	伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	植物生産者での経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	植物の分類ごとの管理について理解されているかをレポートにて評価とする。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつレポートの得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	多肉植物の販売管理①	講義① 生理生態と特徴	
2	多肉植物の販売管理②	講義② 商品事例と特徴	
3	多肉植物の販売管理③	実習① 栄養繁殖実習	
4	多肉植物の販売管理④	実習② カラーサンド製作	
5	観葉植物の販売管理①	講義① 生理生態と特徴	
6	観葉植物の販売管理②	講義② 商品事例と特徴	
7	観葉植物の販売管理③	実習① 栄養繁殖実習	
8	観葉植物の販売管理④	実習② スクエア鉢	
9	薬用植物の販売管理①	講義① 生理生態と特徴	
10	薬用植物の販売管理②	講義② ハーブの相性	
11	薬用植物の販売管理③	実習① 栄養繁殖実習	
12	薬用植物の販売管理④	実習② キッチンガーデン	
13	水生植物の販売管理①	講義① 水に関わる分類図	
14	水生植物の販売管理②	講義② ビオトープとビオガーデン	
15	総合評価	確認テスト、レポート課題	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	園芸指導技術		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネーターコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	2年次前期	時間数	30	単位数	1
授業概要	教わる立場から一転、教える立場としての授業展開。近隣の公民館にて園芸講座を実施し、企画力・指導力について実践型式で学ぶ。	到達目標	園芸講座がスムーズに実施されているかを計り、お客様の目線に合わせた園芸について理解する。		
担当教員	伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	植物生産者での経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	園芸講座における各自の役割と説明がしっかりされているか。学校でのリハーサルを含めて評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ実践での段取りと接客状況で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	園芸指導とは	教えるために必要な要素	
2	園芸講座の紹介	過去の実施例と企画立案について	
3	園芸講座の概要①	テーマ、参加料、生涯保険、仕入について	
4	園芸講座の概要②	講座の流れ、役割分担、ポイント、まとめ	
5	指導方法①	絵コンテの作成	
6	指導方法②	材料の確認、デモンストレーションの重要性	
7	指導方法③	寄せ植えづくりを通して指導	
8	リハーサル① 先生役2名	寄せ植えの指導方法	
9	リハーサル② 先生役2名	寄せ植えの指導方法	
10	リハーサル③ 先生役2名	ハイドロカルチャーの指導方法	
11	リハーサル④ 先生役2名	ハイドロカルチャーの指導方法	
12	リハーサル⑤ 先生役2名	寄せ植えの指導方法	
13	リハーサル⑥ 先生役2名	寄せ植えの指導方法	
14	実践①	実際の園芸講座を開催して指導	
15	実践②	実際の園芸講座を開催して指導	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	園芸療法・福祉		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネーターコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習 見学
開講時期	2年次前期	時間数	30	単位数	1
授業概要	園芸療法とは何か、福祉施設における園芸療法の取組みを講義と実習を体験しながら学ぶ。	到達目標	福祉の一部である園芸療法の目的、方法、注意点、効果について理解する。		
担当教員	伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	植物生産者での経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	関連資料の配布				
成績評価方法	福祉施設での実習レポートを提出する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつレポートを提出で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	園芸療法・福祉とは①	園芸療法先進国に学ぶ	
2	園芸療法・福祉とは②	歴史と展望	
3	園芸療法・福祉とは③	資格等について	
4	植物の効用について①	生産、経済的効果	
5	植物の効用について②	心理、生理的効果	
6	植物の効用について③	身体、人間的効果	
7	実習①	植物の準備	
8	実習②	道具類の準備	
9	実習③	基礎知識、入居者への注意点など	
10	実習④	福祉施設における植栽実習	
11	実習⑤	福祉施設における植栽実習	
12	実習⑥	福祉施設における植栽実習	
13	実習⑦	福祉施設における植栽実習	
14	実習⑧	福祉施設における植栽実習	
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	卒業研究		履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	2年次前・後期	時間数	210	単位数	7
授業概要	各自で植物の研究テーマを設定し、調査・解析・研究発表を通して、個々のプレゼンテーション能力、文章能力、考察力を養う。	到達目標	主体的に研究を行うことで、植物の変化にいち早く気付ける観察力を養う。またエクセル、ワード、パワーポイントを駆使することでプレゼンテーション能力を高め就職後に結びつける。		
担当教員	伊藤 弘充				
実務経験と授業との関わり	植物生産者での経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。				
テキスト・教材	過去の卒業研究論文、学会誌等の関連資料				
成績評価方法	卒業研究発表会を実施し、その成果を確認する。卒業研究論文を作成し、文章構成、表現、考察力等の内容より評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ卒業研究論文の完成で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	オリエンテーション	実施計画の必要性、過去の研究内容について	
2	実施計画①	実施計画書作成	
3	実施計画②	実施計画書添削	
4	実施計画③	テーマ決定、準備開始	
5	調査・研究①	付属農場にてセッチング	
6	調査・研究②	調査項目の測定	
7	調査・研究③	調査項目の測定	
8	調査・研究④	調査項目の測定	
9	調査・研究⑤	調査項目の測定	
10	調査・研究⑥	調査項目の測定	
11	調査・研究⑦	調査項目の測定	
12	調査・研究⑧	調査項目の測定	
13	調査・研究⑨	調査項目の測定	
14	調査・研究⑩	調査項目の測定	
15	研究データ解析①	データのグラフ化	
16	研究データ解析②	現れた差の解析	
17	研究データ解析③	処理効果の確認と考察	
18	研究データ解析④	図表の添削、修正	
19	研究データ解析⑤	図表の完成	
20	発表会準備①	発表原稿作成	
21	発表会準備②	パワーポイント映像作成	
22	発表会準備③	パワーポイント映像作成	
23	発表会準備④	発表準備リハーサル	
24	発表会準備⑤	修正、リハーサル	
25	発表会準備⑥	最終リハーサル	
26	卒業研究発表会	野菜生産専攻と合同で実施（12月最終授業日）	
27	卒業研究論文作成①	文章構成の確認と取組み	
28	卒業研究論文作成②	下書き、チェック	
29	卒業研究論文作成③	添削・修正	
30	卒業研究論文作成④	最終チェック、提出	
他教科との関連	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	インターンシップ			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期または後期	時間数	60		単位数	2
授業概要	外部企業において実際に現場を経験し、自身の現在の実力を理解するとともに企業担当者からも評価してもらうことで、今後の学習目標を定める。また、就職活動においても役立つ。	到達目標	自分の希望している企業（職種）での業務において、必要な知識と技術を理解するとともに、今後の学習目標を定める。			
担当教員	外部企業					
実務経験と授業との関わり						
テキスト・教材						
成績評価方法	考課表および実習報告書にもとづいて総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	企業研修	6～12日間程度外部企業で研修を行う	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	校外研修			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前期または後期	時間数	60		単位数	2
授業概要	外部企業もしくは海外研修など、校外で研修（学習）することで、見聞を広めたり、就職活動や今後の学習目標を定めるための材料とする。	到達目標	自分の希望している企業（職種）での業務において、必要な知識と技術を理解するとともに、今後の学習目標を定める。海外研修では日本と異なる文化に触れ、見聞を広める。			
担当教員	外部企業等					
実務経験と授業との関わり						
テキスト・教材						
成績評価方法	企業での研修の場合には考課表および実習報告書にもとづいて総合的に評価する。海外等での研修の場合にはレポートによって評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	校外研修	6～12日間程度校外（企業、海外等）で研修を行う	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	管理実習			履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前・後期		時間数	60	単位数	2
授業概要	農場の管理を通して植物の適正な管理方法について学ぶ。	到達目標	様々な植物に対する管理方法を身に付ける。			
担当教員	伊藤 弘充					
実務経験と授業との関わり	植物生産者での経験と日本育種学会発表や、園芸装飾技能士1級ならびに職業訓練指導員免許を所持することから、実際の現場に即した内容を指導することができる。					
テキスト・教材						
成績評価方法	出席状況、実習態度を総合的に評価する。		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	農場等の管理実習	長期休業期間中に校内で管理実習を行う	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 欠席時数分は他の日程で代講する。出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2020年度 シラバス（授業細目表）

科目名	校内行事			履修区分	必修	選択
受講対象	グリーンコーディネートコース 2年生	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	2年次前・後期		時間数	120	単位数	4
授業概要	様々な校外行事に参加し、主体性、協調性、作業の計画性など、就職してからも活かせるような知識や技術を身につける。	到達目標	様々な校内行事を通して、主体性、協調性、計画性などを身につける。			
担当教員	伊藤 弘充					
実務経験と授業との関わり						
テキスト・教材						
成績評価方法	出席状況や各行事への取り組む姿勢、レポート等を総合的に評価する。	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ評価の得点が60点以上で単位認定となる。			

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	新年度オリエンテーション	ガイダンス、健康診断、国家検定申込み	
2	新年度オリエンテーション	防火・防災訓練	
3	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
4	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
5	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
6	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
7	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
8	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
9	文化祭準備	文化祭に向けた準備	
10	文化祭	展示／販売／体験教室等	
11	文化祭	展示／販売／体験教室等	
12	文化祭 片付け	文化祭の片付け	
13	卒業・進級作品展準備	展示等の準備	
14	卒業・進級作品展	展示等	
15	卒業・進級作品展 片付け	卒業・進級作品展の片付け	
他教科との関連		欠席者に対するペナルティ 欠席時数分は他の日程で代講する。出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考